



6 農振第 175 号
令和 6 年 4 月 11 日

文部科学省 総合教育政策局
男女共同参画共生社会学習・安全課長 殿

農林水産省
農村振興局整備部 水資源課長
防災課長

農業用の用排水路及びため池への転落事故防止の取組実施について
の協力願い（依頼）

農業用の用排水路やため池は、農業生産に不可欠な農業用水を供給する施設であり、古来より全国各地に施設が築造され、我が国の農業の発展に重要な役割を果たしてきました。

一方で、農村地域の都市化、混住化に伴い、これら施設への転落事故の危険性が増しており、例年、ゴールデンウィークから学校等の夏休み期間にかけて、事故件数が多くなっています。

このため、当省においては、都道府県や市町村、施設管理者等と連携し、転落事故の防止に向けた安全対策や啓発活動の実施に取り組んでいるところです。

これからゴールデンウィークを迎えるに当たり、当省としては、転落事故の防止を図るべく、学校教育機関を通じて児童や生徒等に当省の取組を周知したいと考えておりますので、貴省におかれては御協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

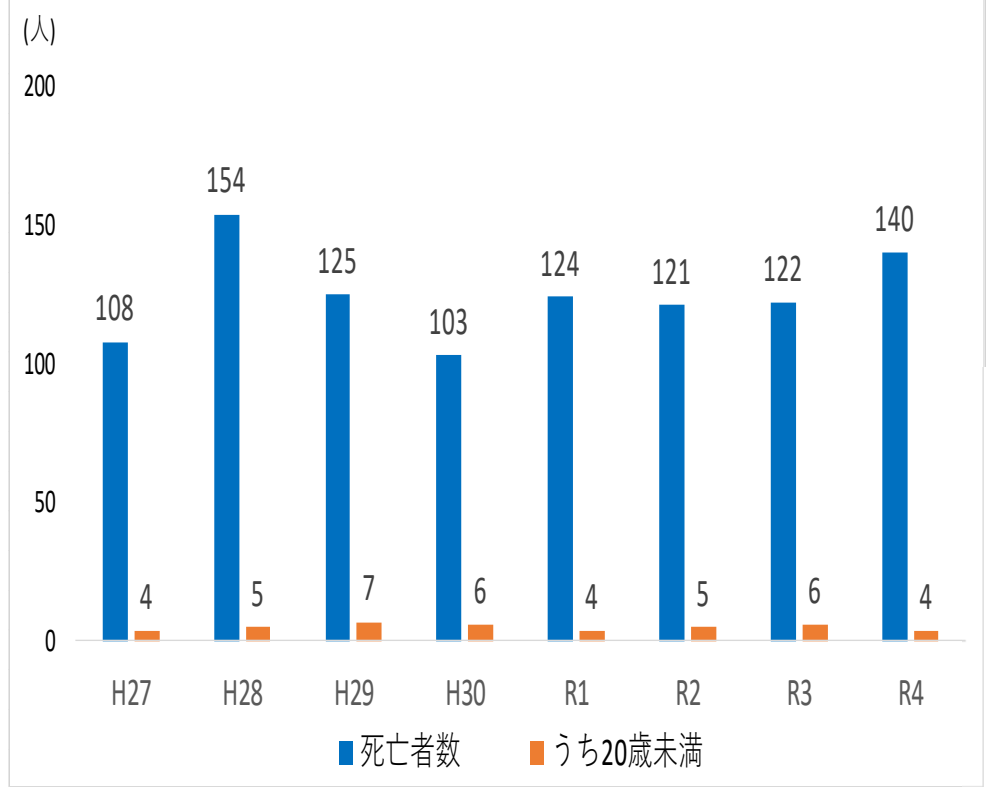
農業用の用排水路やため池の危険性等を紹介する資料を別紙のとおり添付いたします。学校等において児童や生徒等に御指導いただく際に御活用いただきますよう、周知のほどよろしくお願いいたします。

農業用の用排水路、ため池等への転落事故における死亡者数

農業用の用排水路、ため池等への転落事故における死亡者数は、毎年**100人以上**となっています。
このうち子供の死亡者数は、毎年5人程度となっています。

(年度別の転落事故における死亡者数)

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
死亡者数	108	154	125	103	124	121	122	140
うち10歳未満	4	3	3	3	2	2	3	1
うち10歳以上20歳未満	0	2	4	3	2	3	3	3



農業用の用排水路及びため池の危険性

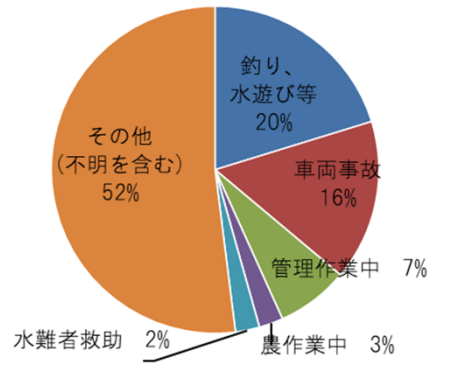
ゲリラ豪雨などが発生すると、一気に水路の水位が高くなるなど、大変危険なので、農業用の用排水路などへ近づいたり、遊ばないように注意して下さい。



農業用の用排水路の増水状況

ため池の転落死亡事故は、釣り、水遊び等を行っているときに発生することが多くなっています。
ため池へ近づいたり、遊ばないように注意して下さい。

(死亡事故の原因別割合)

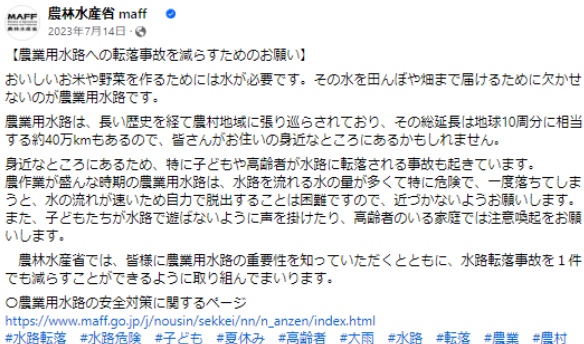


※都道府県から農水省への報告(H25年度～R4年度)による。

農業用の用排水路への子供の転落事故防止のための啓発活動の取組事例

毎年、3～4月頃から様々な方法で、農業用の用排水路への転落事故防止対策を周知しています。

農林水産省公式FacebookやX(旧Twitter)を活用して転落事故防止対策を周知



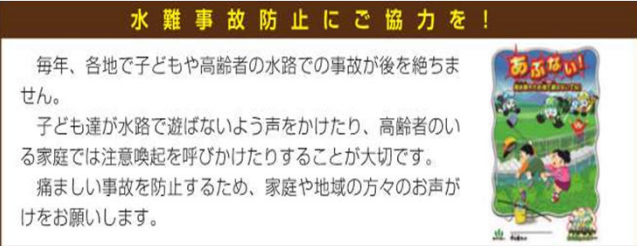
■ 農林水産省公式Facebookページ
<https://www.facebook.com/maffjapan>

■ 農林水産省公式X(旧Twitter)
https://twitter.com/MAFF_JAPAN

一般紙を通じて地域に転落事故防止対策を周知



施設管理者が発行する広報誌により転落事故防止対策を周知



地域の小学生を対象に、農業用の用排水路の見学会を行い、農業用の用排水路の役割や危険性について認識を深めてもらうよう周知



マスメディアを活用して地域に転落事故防止対策を周知



総合学習(出前授業)を活用して転落事故防止対策を周知



農業用ため池への子供の転落事故防止のための啓発活動の取組事例

ため池事故防止・注意喚起動画の作成（宮城県）

宮城県では、児童、教師、保護者等に、ため池の役割や転落事故の危険性の理解を深めてもらうための動画を作成するとともに、教育機関と連携し、動画の周知と活用を図っています。

<取組内容>

- 「ため池事故防止・注意喚起動画」を県広報課YouTubeチャンネルで公開（R4年7月）
URL : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosonshin/tameike-rule.html>
- 動画の周知と活用を図るため、県教育委員会と連携し、以下の取組みを実施
 - ・警察署や消防署，教育委員会等が参加する会議での情報共有
 - ・学校向けに配布する広報誌への情報掲載
 - ・全小学校に動画活用について案内するとともに、保護者等への一斉メール配信の実施
 - ・職員による小学校への出前講座の実施



ため池事故防止・注意喚起動画



小学校での啓発活動

小学校と連携した「ため池ふるさと教育プログラム」の実施（兵庫県）

兵庫県では、ため池等を地域の財産として認識するとともに、ふるさとへの愛着を醸成するため、6年間の継続的な体験型の学習機会を提供する「ため池ふるさと教育プログラム」を実施しています。

<4年生の授業内容>

- ため池の役割や意義のほか、危険性についても学習し、ため池で溺れた時に浮き輪代わりとなる救助具「レスキューペットボトル」を発案。
- ボトルの数や重さ、ロープの取り付け方法などを実際に近くのため池で検証しながら製作、設置。
- この取組は、新聞やテレビのニュースなどにも取り上げられました。



ため池学習の様子

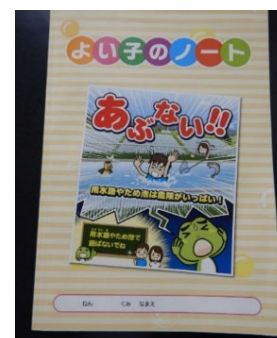


レスキューペットボトル発案



レスキューペットボトル設置

教育機関と連携して、小学生等にチラシ等を配布



ノートの配布（北海道土地連）



チラシの配布（青森県）



チラシの配布（新潟県）

農業の用排水路及びため池への転落事故防止のための啓発ツール

■ ため池に入るのは危険です (BUZZ MAFF)

【農業用ため池における転落事故防止PR動画】



■ 【農業用ため池における転落事故防止PR動画URL】

■ <https://www.youtube.com/watch?v=-4bXpH3Qfek>

【BUZZ MAFF (ばずまふ) とは】

農林水産省職員自らが、省公式YouTubeチャンネルでYouTuberとなるなど、担当業務にとらわれず、その人ならではのスキルや個性を活かして、我が国の農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力等を発信するプロジェクトです。

■ 転落事故防止の啓発ポスター

(全国土地改良事業団体連合会 作成)



■ 【農業用水利施設の安全対策啓発ポスターURL】

■ <https://www.inakajin.or.jp/works/support/land/poster>

全国水土里ネット (全国土地改良事業団体連合会) では農業用の用排水路やため池への転落事故防止を呼びかけるポスターを作成し、無償でデータ提供しています。